

第 86 回日本生化学会大会レポート

M1 倉田未紗稀

2013 年 9 月 11 日から 13 日にかけて開催された、第 86 回日本生化学会大会に参加し、ポスター発表をさせていただきました。

私にとって初めての学会でしたが、研究室からは他に参加者がおらず、1 人の参加となったため、出発前は不安を感じていました。けれど学会会場であるパシフィコ横浜に到着してからは、参加者の多さに圧倒されつつも、様々な分野の最先端の研究に触れる機会である事を実感し嬉しさを感じました。

ポスターセッションでは、普段交流する事のできない他大学の学生とのディスカッションの機会という事で、多くの参加者のポスターを拝見し、議論を交わしました。中でも私と同じ共生細菌について研究を行っている九州工業大学の方の発表は非常に興味深く、ディスカッションも有意義なものでした。私のポスター発表にも沢山の方が来てくださり、貴重な意見を頂きました。さらに研究室の先輩である岩下修士とも議論を交わす機会があり、有意義な時間を過ごす事ができました。

シンポジウムでは、エピジェネティック制御や、Wnt シグナル等の細胞内シグナル伝達についての発表が興味深い内容でした。

今回の学会発表では様々な方と交流する事で刺激を受け、自分の研究に対するモチベーションが高まりました。このような貴重な体験をさせて頂いた事に深く感謝申し上げます。